



2024年7月29日

各位

会社名 美樹工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡田 尚一郎
コード番号 1718 (東証スタンダード)
問合先責任者 常務取締役管理本部長 魚澤 誠治
電話番号 079-281-5151

第2四半期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2024年2月14日に公表いたしました2024年12月期第2四半期連結及び個別業績予想と本日公表の実績値との差異について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2024年12月期第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績値との差異(2024年1月1日~2024年6月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 連結中間 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,000	530	530	260	237.87
今回実績 (B)	13,125	543	548	360	329.62
増減額 (B-A)	1,125	13	18	100	—
増減率 (%)	9.4	2.6	3.5	38.6	—
(参考) 前第2四半期実績 (2023年12月期 第2四半期)	16,234	757	760	497	454.97

2. 2024年12月期第2四半期(中間期)個別業績予想値と実績値との差異(2024年1月1日~2024年6月30日)

	売上高	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,000	230	140	128.08
今回実績 (B)	7,351	527	364	333.12
増減額 (B-A)	1,351	297	224	—
増減率 (%)	22.5	129.3	160.1	—
(参考) 前第2四半期実績 (2023年12月期 第2四半期)	10,214	641	450	412.23

3. 差異の理由

(連結)

売上高につきましては、当社において下半期に予定しておりました1棟売の収益マンションの売却が6月に行われたことから、前回予想比9.4%増の13,125百万円となりました。

利益につきましては、連結子会社であるセキスイハイム山陽株式会社及び株式会社リブライフにおいて引渡棟数が計画を下回り住宅セグメントの業績は低調に推移しましたが、建設セグメントにおいて売上高の増加に加えて原価の低減に努めたことや、追加工事により収益性が改善した結果、営業利益は前回予想比2.6%増の543百万円、経常利益は前回予想比3.5%増の548百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前回予想比38.6%増の360百万円となりました。

(個別)

売上高につきましては、下半期に予定しておりました1棟売の収益マンションの売却が6月に行われたことから、前回予想比22.5%増の7,351百万円となりました。

利益につきましては、売上高の増加に加えて原価の低減に努めたことや、追加工事により収益性が改善した結果、年初の想定を上回り、経常利益は前回予想比129.3%増の527百万円、中間純利益は前回予想比160.1%増の364百万円となりました。

以上